

## 調達価格等算定委員会（第45回）

### 議事要旨

#### ○日時

令和元年8月5日（月）13時00分～13時30分

#### ○場所

経済産業省本館12階西1会議室

#### ○出席委員

山内弘隆委員長、大石美奈子委員、高村ゆかり委員、松村敏弘委員、山地憲治委員

#### ○事務局

松山省エネルギー・新エネルギー部長、山崎省エネルギー・新エネルギー部政策課長、清水新エネルギー課長、杉浦再生可能エネルギー推進室長、梶新エネルギー課長補佐

#### ○議題

（1）入札（太陽光第4回）の上限価格について

#### ○議事要旨

（1）入札（太陽光第4回）の上限価格について

- ・ 「委員会の非公開について（案）」を了承した。

#### 委員

- ・ 入札制度の趣旨が、事業者間の競争によるコスト低減を促し、費用効率的な水準での事業実施を実現していくことにある点を踏まえて、特に前回の入札結果の分析を通じて、直近の市場の競争状況を上限価格の設定に反映させることが重要という事務局の考え方に賛成。
- ・ 今回の上限価格の設定に当たっては、入札対象範囲外の調達価格との関係に留意する必要があるのではないか。
- ・ 今回の入札でも、募集容量（300MW）よりも多くの容量の入札がなされ、競争を通じたコストダウンが実現することを期待したい。こうした状況が実現すれば、上限価格近傍で入札を行った事業者が落札できる可能性は低くなる。
- ・ 上限価格の設定は、「上限価格以下の価格水準であればFIT制度による導入支援を行う」という国からのシグナルとしての意味合いもあるのではないか。

- 今回の入札から入札対象範囲が拡大している。この拡大が事業者に与える様々な影響を注意深く見ていく必要があるのではないか。

#### **委員長**

- 委員の指摘を踏まえ、競争性を確保するという点を勘案し、太陽光第4回入札の上限価格を決定した。
- 以上を踏まえ、資料2に基づき「令和元年度の供給価格上限額（太陽光発電設備第4回）に関する意見」を取りまとめることに委員の合意が得られた。

(お問合せ先)

資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課

電話：03-3501-4031

FAX：03-3501-1365